

学校運営協議会 議事録

校名	府立たまがわ高等支援学校
校長名	坂田 定之

開催日時	令和5年7月12日(水) 10:00 ~ 11:40
開催場所	たまがわ高等支援学校 会議室
出席者(委員)	協議会委員5名 委員長:土口千恵子(四天王寺大学 教授) 【以下五十音順】 織田千穂(府立たまがわ高等支援学校 PTA会長) 酒井京子(大阪市職業リハビリテーションセンター 所長) 中村一誌(稲葉第一自治会 会長) 横塚浩一(ハウスあいファクトリー株式会社 代表取締役社長)
出席者(学校)	事務局員9名 坂田定之(校長) 今坂真悟(教頭) 吉岡宗一(事務長) 勝井玲奈(首席兼教務主任) 川島秀文(首席兼生徒指導主事) 井元孝弥(進路指導主事) 吉村晴海(指導教諭) 藤井隆(自立活動主任) 高橋唯(保健主事)
傍聴者	なし
協議資料	<資料1>学校運営協議会実施要項 <資料2>令和4年度学校経営計画及び学校評価について <資料3>令和5年度学校経営計画及び学校評価について <資料4>進路指導の状況について <資料5>生徒指導の状況について <資料6>令和5年度教科書について
備考	

議題等(次第順)

- (1)学校運営協議会実施要項
- (2)令和4年度学校経営計画及び学校評価について(報告)
- (3)令和5年度学校経営計画及び学校評価について  
進路指導の状況について、生徒指導の状況について、令和5年度教科書について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (1)学校運営協議会実施要項(承認5名)  
本年度の会長・副会長選出。概略の説明。
- (2)令和4年度学校経営計画及び学校評価について(報告) (承認5名)  
令和4年度の学校評価については前年度の第3回にて承認済み。  
遅刻指導を重点課題とし、遅刻指導を大幅に改善したことで遅刻者数は減少傾向となった。しかし、不登校生徒の欠席に関しては課題が残る。教員授業相互見学回数増加の工夫として、見学の敷居を下げるために見学後のプリント記入をなくし、自由に見学できるようなしかけを検討中。時間外勤務の減少に向けての取り組みにおいては、5月より業務時間外の自動電話応答を行っている。今年度は時間外勤務が減少傾向である。ただ、コロナ禍で中止となっていた行事も復活してきているので時間外勤務が増えそうだが、働き方改革の意識を持ち、時間外勤務の減少をすすめていきたい。
- (3)令和5年度学校経営計画及び学校評価について(承認5名)  
学校経営計画には中期的目標において教員への意識付けのためにキャッチフレーズをつけた。また、校内向け計画には、府立学校に対する指示事項との関連を記入し、取組内容には分掌・担当が明確になるようにした。入学選抜を行う府立高校はアドミッションポリシーを中学生に明示している。本校は卒業後すぐの就労を目指した学校であるということなど本校の魅力をわかりやすく中学生に伝えることができるようアドミッションポリシーの見直しを検討したい。来年度に行われる令和7年度入試より変更予定。ホームページの活用に関しては昨年度は本校紹介動画を充実させたが、今年度は、それらに加え、写真を通じて紹介していきたい。校長ブログも積極的に発信中である。5月より自立活動時に認知機能強化トレーニングとしてのコグトレオンラインを利用している。

意見

- ・なぜアドミッションポリシーの見直しが必要となっているのか現状報告を(学校)開校から18年目となるが、近年、入学する生徒の実態が変化してきた。本校は就労を通じた社会的自立をめざす生徒を支援する学校。基本的な生活習慣が確立され、そのベースの力を一定備えた生徒に集団・一斉指導において働く力をつける支援を行ってきたが、個別の対応を必要とする生徒が増えている。何より生徒本人が安心できる環境で充実した学びとなるようにしたい。
- ・学校経営計画のめざす学校像に”一人ひとりの状況を的確に把握し、より適切で効果的な指導・支援をするために進化する学校”とあるので、”一人ひとり”というワードから個別の対応を求めている保護者が多いのではないかと。1対1対応してもらえると誤認識されそうなので、卒業後すぐの就労に向けて集団・一斉指導で学ぶ学校であると伝えるべき。自宅から近い、定員数が多いので入学できそうという理由ではなく、高等支援学校卒業後を見据えて学校選択してもらえるよう、中学生の段階で進路を決めるのが難しいが、中学生に分かりやすいアドミッションポリシーが必要ではないか。
- ・職業リハビリテーションセンターでも、コロナ禍で職場実習の機会減少による影響がマッチングがうまくいっていないケースが多くみられる。就業・生活支援センターが巡回する前に離職の話も聞く。また、職場実習の経験不足により、入社後に教えないといけない事項が増えたと感じている。
- ・コロナ禍で休むことに対するハードルが下がり、不登校が増えたのでは。中学校不登校生の高等学校への進学についても中学校側から適切な情報提供がなされ、適切な進路先につながればよいのだが。
- ・近隣住民の立場でいうと、本校生が歩道幅いっぱい横並びで歩くので通行に困る時がある。社会のルールを守らせる指導もお願いしたい。

次回の会議日程

日時	令和5年12月
会場	たまがわ高等支援学校